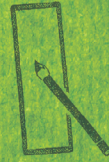


# 文芸きくち



## 万句の里俳句会 令和元年12月句会

省略に省略重ね年用意  
山襲やまひたのくつきり近し冬に入る  
声掛けはいつも四五人牡丹鍋  
黙々と冬芽にひそむ命かな  
大枯野にも充電といふ大事

隈部 輝子  
田中 美智  
中路 郁子  
松永 久子  
光本とよいち

## せせらぎ俳句会 令和元年12月例会

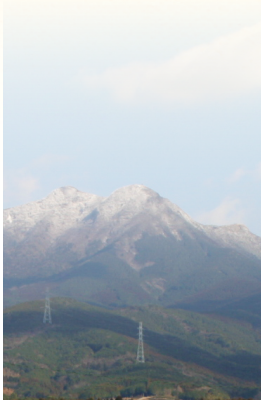
療養の兄はねんねこだぶだぶに  
石臼に餅搗く父母の浮かび来る  
雨音を聞いて冬至の夜明けかな  
孫達の我待つ電話年の暮  
捨て難き物また戻し年用意

森 正子  
坂崎ユキ子  
藤本 邦治  
寺本 和子  
五丁 義昭

## 旭志文芸教室俳句の会 令和元年12月詠草

銀杏葉をそっと踏みしめ猫の行く  
縁側で老のおしゃべり日向ぼこ  
霜月や猪と我知恵くらべ  
霜月や緒方貞子女史星になり  
秋寒やもらいの古着ありがたき

中尾ヨシコ  
芹川のり子  
水谷 ミネ  
芹川 蓉子  
稗田 達恵



## 七城短歌会 令和元年12月詠草

夕暮れの広き川原の芒原間をおき聞こゆ雉の雄叫び  
鮮やかに咲きいる菊の花穂切る苗取る為の菊士の悲哀  
ねんごろに菊をつくりいる詠友とのテレビの笑顔しやわせに満つ  
朝床の身にしむ温もり甘えては分秒稼ぎ起きしぶるなり  
とりどりの色熱帯魚の水槽竜宮さながら患者をなごます

渡辺 光夫  
緒方 正俊  
高木 精  
佐々 重弘  
嶋田 晴美

## 「里」短歌会 令和元年12月詠草

初任地で出会えて今も師と仰ぐ清しく老いて三春に住まふ  
落ち葉手にパンダの口に一歳児笑みを浮かべて食べさせている  
「アファニスタンを救うは水」と熱こめて語りし中村医師の講演の声  
子や孫と一緒に写りし一枚に亡母に似てきた吾を見つける  
教わりし人の一言一言をつなぎ思いて甘酒作る

坂本 玲子  
緒方 悦子  
林 淑子  
前原 ゆみ  
梶原美智代

## 溪流短歌会 令和2年1月詠草

七五三に孫生まれたり未熟児の小さき命そっと抱きしむ  
吾が生命いのち続けとばかり野に立てば一片浮かぶ夕暮れの彩雲  
暁の黄金のひかり射す雲間目覚めし小鳥二羽が飛び立つ  
わが家を困める竹山笹降らし夫逝きてよりなほも降り継ぐ  
師走来て教師ならずも気忙しい朝の雷雨に夕焼もあり

田中 遥子  
中川 愛子  
岩根 博恵  
山城 雅子  
堤 よしみ

## 菊池短歌会 令和2年1月詠草

如月の凍空ひてぞら高く飛行雲一直線の無音の白線  
草もみぢ夕陽の野づらに静もれば我は座りぬ哀しみ降ろし  
立野なる地震の崩落うづめゆく笹の葉草に灰の積もれる  
目を閉じて手合わす夜の仏壇にこの朝活けし水仙香る  
喜三郎の相撲人形西洋のリアリズムよりも力強し

中川 愛子  
奴留湯健蓉  
安藤 則子  
川口すみ子  
古賀 勝士

入会希望など詳しくは、  
それぞれの句会や歌会  
にお尋ねください。

万句の里俳句会  
せせらぎ俳句会  
旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151  
藤本 ☎0968(38)4087  
中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会  
「里」短歌会  
菊池短歌会

佐々 ☎0968(24)3761  
／溪流短歌会  
木原 ☎090(5284)2418  
安藤 ☎0968(25)4285